

工業部会長報告

1. 会議名 第1回工業部会（先進企業視察）
2. 目的 高い技術を有し各製造分野において先進的な取り組みを行う県内企業2社を視察した。
3. 日程 2025年 **7月22日**（火）
4. 場所 ①**中国木材(株)能代工場**（能代市扇田扇渕3-12）
対応者：副部長 松浦 健次郎 氏
能代管理課 主任 吉牟田 陽 氏ほか
②**東光鉄工(株)**
本社・釈迦内工場（大館市釈迦内字稻荷山下9）
本宮工場（大館市本宮字上八野8）
対応者：代表取締役社長 菅原 訪順 氏
各事業部責任者ほか
5. 出席者 29名（部会員10名、他部会員19名）

① 中国木材(株)能代工場

■ 概要

- 1953年創業、広島県呉市に本社を置く、**日本最大級の木材メーカー**。主に、**住宅用の柱や梁などの構造材を製造・販売**。原木の調達から製材、加工、販売、物流まで**一貫して手掛ける**ことで、高品質な製品を安定的に供給。
- バイオマス発電事業など**木材を余すことなく活用するビジネスモデルを構築**しているほか、自社で山林を経営し、持続可能な森林管理にも取り組んでいる。

■ 能代工場の現状

- 2024年1月から製材棟より順次稼働。能代工業団地内に工場や木材置き場等の4エリア（敷地面積約132,000坪）を展開。総投資額270億円（土地除く）。2027年1月にはバイオマス発電用ボイラー稼働開始予定。
- 全国からお声がけいただく中で、**秋田進出を決めた理由は、豊富なスギ資源があることと、官民からの強力な後押し**があったこと。
- 従業員は224名（うち現地採用171名）であり、**メディアを活用した認知度向上と、全国一律の基本給と手厚い福利厚生により、採用は順調に推移**。



作業はほぼ機械で行われており、2交代制で稼働している（写真：製材棟）



木の穴のパテ埋めはAIで管理し、補修ロボットで使用して省人化を図っている（写真：加工集成材棟）

■ 概要

- 「創造と挑戦」を理念に掲げ、11事業部1研究所を拠点に、**鉄骨や橋梁などのインフラ事業から、最先端のドローン開発まで多角的な事業を展開**。従業員は267名。
- 1938年に東京で当社の前身となる東光製作所を開業し、今年で87年目を迎えた。**100年企業を目指すにあたり、「洋上風力」「原子力」「防衛」の3分野の事業拡大に注力**していく。

■ 生産性向上と洋上風力関連製品の専用新工場

- **機械にセンサーを取り付け、稼働状況をリアルタイムで収集・分析するシステム導入等による生産性向上**に取り組んでいるほか、2024年には大型の精密部品を加工するための工場増築と、最新の機械設備を導入することで、より高精度な製品を効率的に生産できる体制を強化。
- 一部工場にはエアコンを設置し、環境整備にも取り組む。
- 2025年1月、船舶用クレーンで実績を持つ関ヶ原製作所（岐阜県）と共同開発した、**洋上風力関連製品「ダビットクレーン」を製造する新工場を経済産業省の補助金を活用し、総事業費約8億円で建設**。今後、本格的な生産・受注拡大を図っていく。



菅原社長から100年企業に向けた経営方針を伺った（写真：本社）



当日は釈迦内・本宮の2カ所で、7つの工場を視察した（写真：釈迦内工場）